

保護者の皆様へ

江の島保育園・民営化だより

平成28年3月8日 第5号

日ごとに暖かさを感じられるようになりましたが、いかがお過ごしですか。

早いもので、江の島保育園の民営化まで1か月足らずという時期になりましたが、先日3月4日に民営化前最後となる第6回の三者懇談会(保護者・法人・市)を開催させていただきました。

今回の懇談会では、スタートから5か月を経過した「引継ぎ保育」の実施状況や子どもたちの様子、4月からの「合同保育」の体制や実施期間、仮設園舎への移転に伴う対応、本年夏以降着工予定の新園舎の概要などについて、保護者の皆様と懇談をさせていただきました。懇談会で話し合った内容やご説明した内容は、以下のとおりです。

(1) 引き継ぎ保育の実施状況と子どもたちのようす

〔実施状況報告:市保育振興担当主幹・岡崎〕

昨年10月から引継ぎ保育を始めましたが、それ以前から両園長(市・法人)、主任保育士(法人)、副園長(市)、保育課で話し合いを重ねてきたほか、始まってからも各クラスの話し合いなどを何度も行いました。

このように、円滑な引き継ぎを行うために、童愛会の職員と江の島保育園の職員がお互いの保育のことを話し合い、違いを認めた上で、今できることをやっていく努力を重ねてきたほか、子どもたち一人ひとりの引き継ぎも担任同士でいねいに行ってきました。

おかげさまで、子どもたちも保護者の皆様が感じているように、今は童愛会の先生方に慣れ、担任として違和感なく過ごしております。保護者の皆様には温かい目で見守っていただき、本当にありがとうございました。

〔子どもたちのようすなど:童愛会・山崎園長〕

引継ぎ保育については、各クラスとも順調に進んでいます。童愛会の職員は、江の島保育園の職員と一緒に遅番、早番の勤務にも入って、朝夕のお子さんの保育状況を把握するとともに、その時間帯に送迎される保護者の皆様とコミュニケーションを図っています。

栄養士も江の島保育園の食育活動や調理活動を見学したり、仮設園舎での調理についての打ち合わせをしたりしています。また、保健師は、子どもたちの健康状況や配慮しなければいけない点などについての引き継ぎを受けています。3月3日から仮設園舎に入れるようになりましたので、3月22日からの保育に支障が出ないように準備を進めていきます。

〔子どもたちのようすなど:江の島保育園・仲田園長〕

昨年10月から引継ぎ保育が始まり、観察期間を経て、童愛会の先生方が少しずつクラスの子どもたちの中に入って行くという関わり方の中で、自然と子どもたちとの関係ができてきました。特に10月後半からは担当するクラスに入って、江の島保育園のクラス担任と情報を共有しながら子どもたちへの理解を深めてきました。

クラス担任の一人として共に遊ぶ中で子どもたちとの関係も深まっていますし、子どもたちも担任の一人として認識し、一緒にいることが楽しいと感じているようです。卒園する年長の子どもたちが童愛会の先生に「ランドセルを見せに来るね」と言っていたりする様子を見ると、うまく関係ができているなと感じています。

〔家庭での子どもたちのようすなど:保護者の皆様から〕

- 朝保育園に来ると、童愛会の先生のところを目がけて行く。慣れるのに時間がかかるタイプの子であるが、そういう姿を見ると親としてほっとするし、うれしい。
- 特に不安はないが、今まで（江の島保育園の先生に）お世話になって、自分の方が寂しく感じているので、自分の気持ちが子どもに影響しなければいいなと思っている。
- 日に日に慣れていっている印象があり、心配はしていないが、環境の変化に強い子ではないので、その辺は注意して見ていきたい。
- これまでは童愛会の先生が少し控えめで、江の島保育園の先生が主でやってきているように見えたが、最近はだんだんと童愛会の先生が前に出てきているような感じがして、自然な流れができていくように感じている。
- 先生が変わることは少しずつ伝えているが、今の担任の先生が大好きなので、最近は少し落ち着きがなくなっている。
- 子どもの言動から、最初は童愛会の先生のことをさん付けで呼ぶようにと園で言われているのかなと思っていたが、最近は「～さん」と呼んでいても、この人は自分の先生であるということがつながつたみたいで、そのことはよかったと思っている。
- 子どもが江の島保育園の先生と同じ位置付けで童愛会の先生を見ているのかどうかについては、親としてはまだ不安がある。
- 敬称（先生の呼び方）について、子どもにきちっと話をした方がよいのか、流れでいった方がよいのか悩んでいる。流れでいった場合、4歳児（自分の子）がどう理解するのかが自分には分からないので不安である。
- 〔先生の呼び方についての仲田園長からのお話〕 現在は園の中で「先生」と「さん」が混在しているが、子どもにとっては「先生」と呼んでいる人も「さん」と呼んでいる人も同じことをしてくれているんだという認識だと思う。市の保育士同士は「先生」と呼んでしまっているので、その中では子どもたちも混乱があるのかと思っているが、4月になって混在する状況がなくなれば、もう少しすっきりするのかなと思う。

（２） 合同保育の期間・体制について

3月 22 日に仮設園舎に移転しますが、その後1週間は現在の市の職員が全員残っています。そして、3月 29 日からは人事異動により市の職員のほとんどが他の市立保育園での勤務となり、市の職員としては合同保育で残る3名のみとなります。ただし、嘱託職員や臨時職員は3月 31 日まで残ります。

4月1日以降の合同保育においては、仲田園長はそのまま残ることになり、そのほかに乳児・幼児のクラスから各1名の保育士が残ることになりますが、3月の2週目に人事異動の内示が出ますので、その後に残る職員の名前を園内に掲示してお知らせします。

また、合同保育の期間は従前からお知らせしてきたように4月～6月の3か月間で、5・6月のクラス懇談会や5月末の三者懇談会で子どもたちのようすを聞かせていただいて、大きな混乱がなければ6月末で終了したいと考えています。ただし、子どもたちが慣れない状況や特別な事情があれば、最長1年までの延長を検討していきます。

（３） 仮設園舎への移転に伴う対応について

童愛会から保護者の皆様にお配りする「仮設園舎への引越しについて及び保育についてのお知らせ」に基づいて説明がありました。配布されたお知らせをよくお読みいただき、ご不明な点があれば、仮設園舎への移転までの間に、江の島保育園にいる童愛会の先生方にお尋ねください。

(4) 新園舎の概要について

江の島保育園については、本年夏ごろから現園舎の解体工事が行われ、その後新園舎の建設が進められる予定ですが、すでにおおよその設計が出来上がっており、懇談会では新園舎の模型が持ち込まれ、それを見ながら童愛会の橋本理事長から以下のような話がありました。

なお、新園舎の模型と平面図、建設スケジュールについては、移転までの間、童愛会が江の島保育園に設置・掲示するとのことですので、送迎の際にぜひご覧ください。

〔橋本理事長のお話〕

園舎については最高のものを子どもたちに用意したいと思うのですが、その土地に建てられる面積とか容積とか、日影がどうかとか、いろいろな規制があります。そのほかにも近隣の問題などもあって、制限だらけの中で作らなければなりません、そういった様々な条件がある中では納得のいく設計ができたのではないかと考えています。

子どもたちにとっては、園舎は赤ちゃんから小学校に入るまでの生活のほとんどを過ごす場所になるため、家庭に準ずる場所、集団との関係が築ける大事な場所と考えていて、随分と長い時間をかけて設計をしました。

この江の島保育園の敷地は決して広くなく、80 人定員の園舎でもいっぱいかなと思いますが、そこに 110 人定員の園舎を建てるということに加え、0歳児には1人あたり 5 m²の広さが必要になるので、全体の密度は非常に濃くなります。

このため、建物は2階建てとし、敷地を目いっぱい使って建てることになりました。具体的には1階には0～2歳の乳児室・保育室を設けて、災害があった場合でも速やかに外に出られるようにと考えています。2階には幼児(3～5歳)の混合クラスの保育室を3室設けるほか、ホールも設置する計画になっています。

実際に入ってみるとかなり狭いかもしれませんが、面積的には現在の園舎よりかなり広がりますし、通路等も十分に確保できていますので、快適に過ごせるのではないかと考えています。

また、新園舎は木造なので、木の香りが充分に思うと思いますし、雨水や太陽光の利用等、環境にも十分配慮した建物になっています。このほか、駐車場も3台分は敷地内に確保します。これから細かい部分を詰めていくこととなりますが、皆さんに喜んでいただけるような園舎にしていきたいと考えています。

(5) 仮設園舎出入口のカギ位置の改修について

以前の三者懇談会において、「仮設園舎の出入口のカギの位置が低く、子どもでも開くことができちゃうのではないか」というご指摘をいただいておりますが、前回(1月)の懇談会以降、移転後に使用する扉(仮設園舎には北向きと西向きに近接して2か所扉があり、中砂保育園では西向きの扉を使用していましたが、江の島保育園では北向きの扉を使用する予定です)の高い位置にカギを取り付けました。また、西向きの扉についても同様にカギを設置しましたので、子どもたちが開けて外に出てしまう心配はないと考えています。

(6) 次回の三者懇談会について

次回の三者懇談会につきましては5月末に開催する予定です。改めてご通知致しますが、合同保育における子どもたちのようすなどをお聞きしたいと考えていますので、ぜひご出席ください。

【その他懇談会における主な質問と回答】

Q 1. 新年度のクラス懇談会はいつ頃の開催になりますか。また、時間帯はどうなりますか。

A 1. 5月か6月の開催になると思っていまして、4月に開催する考えはありません。時間帯につきましては、できれば16:00～17:30 くらいの設定で、お子さんをお預かりした状態で開催できればと考えています。いずれにしても早めにお知らせするようにしたいと思います。

Q 2. 童愛会の先生が2人ずつクラスに入るのは4月からになりますか。

A 2. 2人ずつ入るかはクラスの児童数にもよりますが、童愛会の保育士が全員揃うのは4月1日になります。また、仮設園舎移転後の3月22日からは新卒の職員と法人内での異動が可能な職員が入ってくることになっているため、そこからはかなり人数が増えることになります。

Q 3. 民営化後の延長保育については、事前に申請をしていないとお願いすることはできないのですか。

A 3. 公立と違って補助金等の問題がありますので、基本的には申請をしていただきたいと思います。もちろん電車が遅れてしまったとか、やむを得ない事情の場合もあると思いますので、1回の利用（500円）も設定します。なお、月2回までは1,000円（500円×2回）で済みますが、3回以上の利用になりますと月額と同じ3,000円をいただくことになりますので、頻繁に利用することが想定されるようであれば、申請をしていただいて月額をお支払いいただいた方がよいと思います。また、1月単位でも申請はお受けしますので、仕事が忙しい時期のみの利用なども可能です。

Q 4. 新園舎にはプールは設置されないのですか。

A 4. 現在の江の島保育園のようなプールを設置しますと、夏以外の時期もその場所が使えず、園庭がさらに狭くなってしまいますので、組み立て式のプールを使用する予定であります。また、保育園のプールについては、他の市立保育園を含め、現在は組み立て式が主流になっています。

Q 5. 以前、（童愛会が運営している）立川たんぽぽ保育園の見学に行った際に、和食中心の給食を実施しているという話を聞きましたが、民営化後の江の島保育園でも同じような給食になるのですか。

A 5. 和食中心といっても、ハンバーグとかが全然出ないというわけではありません。ごはんが主になるということで、メニュー的には現在と大きく変わるわけではないと考えています。

Q 6. 保育園でお箸の練習をさせてもらっていますが、民営化後は、「年長はお箸を使う」とか、そういう考えはあるのでしょうか。

A 6. 何歳児だからお箸を使うとか、スプーンにするとか、一律には行いません。食べる方が大事なのでお箸が使えない子はスプーン等で食べて、上手に使えるようになってからお箸に切り替えていくようにします。

Q 7. これまで家庭に配布される給食の献立表の中に、家庭で補うべきものなどを書いてもらっていたので、夕食を作るときなどに参考していましたが、民営化後も同じような内容のものを配っていただけるとありがたいのですが。

A 7. 栄養士と相談をさせていただきます。

民営化に関する問い合わせ

立川市子ども家庭部保育課
電話番号 523-2111 内線 1320 FAX 番号 528-4356
電子メール hoiku@city.tachikawa.lg.jp
民営化相談専用メール enkatuiko_hoikusodan@city.tachikawa.lg.jp